湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日時

令和6年11月28日（水）18:30～20:00

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

I. 開会

II. 出席者紹介

III. 挨拶（いわき市 総合政策部 創生推進課長）

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

資料1-1、1-2

1. 常磐地区の現状と課題 ～ 計画づくりの経緯 ～

2. 湯本駅前の再生に向けて ～ 一体的な空間の中で民間・公共の機能を配置 ～

3. 湯本駅前のイメージ ～ 交流拠点・共同利用エリアの整備方針の検討 ～

4. 事業の進め方

5. 質疑応答

V. その他

1. 湯本駅周辺土地区画整理事業に関する窓口の設置について

資料2

2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介

資料3-1、3-2

3. 新・いわき湯本温泉コンテンツ創造ワークショップについて

資料4

4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について

5. 質疑応答

VI. 閉会

■ 質疑応答の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

- 20年ほど前は、駅前という話はなく、藤原公民館や磐崎公民館に市民サービスセンターを導入するという方針があったと認識していますが、市の方向性が変わったということでしょうか。支所機能についてはどの程度を想定しているのでしょうか。
- ⇒ 本計画については市の公共施設等総合管理計画を基として各施設の検討作業を進めております。駅前については、天王崎団地の解体に伴って、単なる空き地とするのではなく、利活用について検討した結果、駅前への公共機能の集約として整理されたものです。

- 八仙地区や下浅貝地区など、駅の裏側の整備については議論がされていないように感じています。
- ⇒ 駅の東側は駐車場や太陽光パネルの設置によりある程度の利用はされており、また、一度に整備することは難しいため、今回の駅西側を対象地区と進めています。
- 常磐地区においても、「どうせ街なかだけでやっているんでしょ」と駅周辺の地区住民以外は関係ないと感じている人も多いと思います。今後地域のコンセンサスを得るためにも、丁寧な説明をお願いします。

- 駅前の信号の場所は決定しているのでしょうか。また、以前の議論の中ではロータリーの向きは逆にするという意見もあったかと思いますが、どういう経過によってこの方向になったのでしょうか。
- ⇒ どちらも詳細は協議中となっています。現在の案としては、今の信号（ロータリー入口）をロータリーの出口に移設することを検討しています。信号の設置にあたっては歩行者の安全について十分に考慮しながら決めていきます。またロータリーの向きについてですが、乗降口が左であることから、現在の案のような右回り一方通行とすることが国の基準であり、警察署や新常磐交通(株)とも協議を行っています。

- 常磐郵便局前の天王崎交差点や温泉神社前の交差点で右折車が續くと右折レーンがないため、いつもであれば2～3分で通過できる場所が20～30分かかかるような渋滞が発生していました。そちらについての見直しはあるのでしょうか。
- 最近、電柱の地中化のため車道を狭めたいという話が行政の方からありました。渋滞の発生など、こういった現状を照らし合わせると今回の交流拠点施設まで波及すると考えられ、道路計画は良いものではないように感じますがどうでしょうか。
- ⇒ 県道の渋滞については、後日県に対し状況を確認の上、後日改めて回答させていただきます。
※ 令和6年11月29日にいわき建設事務所へ確認し、県道の渋滞に係る交差点の設計については、現在検討中とのこと。質問者へ回答済み。

- 駐車場から交流拠点施設エリアに向かう際、交通量の多い県道を渡ることは大変危険だと感

じます。道路を安全に横断するためにも、地下道やデッキの検討はされていますか。

⇒ 現在は想定しておりません。信号の設置を検討するなど、安全性については十分に協議を進めていきます。

○ 信号の数を増やすと、更なる渋滞に繋がるのではないのでしょうか。駐車場からの出入りや一番町通りからの出口が混雑すると思います。

⇒ 今回の湯本駅前の交流拠点の整備にあたっては、歩行者が滞留できる場所を目指しています。そのため、これまでの一番町通りの道路から県道に接続するような道路計画となっています。また、隣接する信号機との距離は原則として、150メートル以上離すことが指針でも示されており、信号の切り替えタイミングや交通規制なども含め、渋滞とならないような制度設計を考えてまいります。

V. その他

《4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について》

○ みゆきの湯の終了、取り壊しなどはもっと先でよいのではないのでしょうか。

⇒ 取り壊し時期について明確な時期をお示しできないが、区画整理事業において早期に着手するエリアとなっていることから、このタイミングで廃止をさせていただくこととしています。

○ 上の湯はまだ続くという認識でよいのでしょうか。

⇒ はい。ただし、平成29年に湯本財産区で所有している時代に、令和10年までの廃止というのは決定しており、それまでは運営していきたいと思っています。万が一、不測の事態により、大規模修繕が生じてしまった際には改めて検討を行う必要があります。